

NEWS RELEASE

2015.2.16

今回で6回目の開催

「ポーラ ミュージアム アネックス展 2015 — 凝縮と拡充 —」

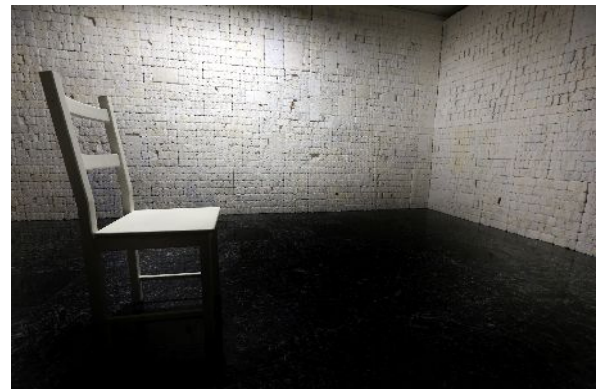
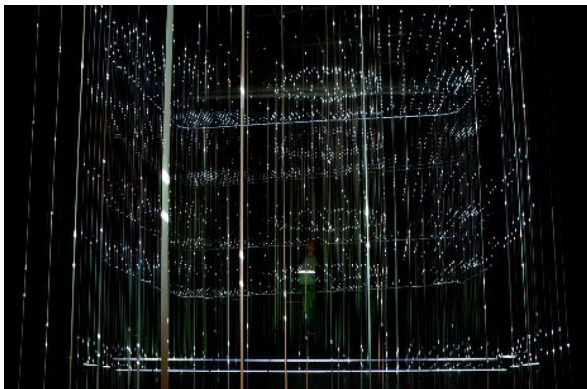
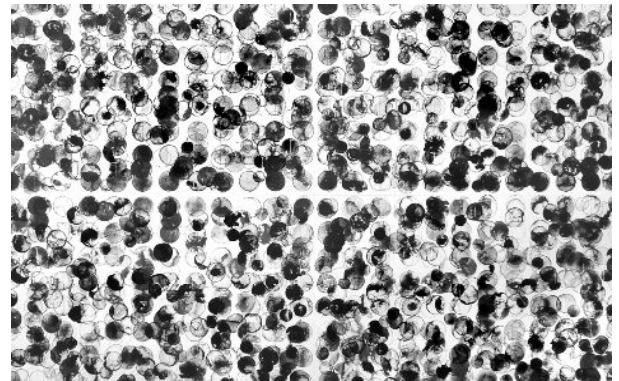
若手アーティスト 4 名によるグループ展 3 月 13 日(金)より

ポーラ ミュージアム アネックス(中央区銀座 1 丁目)では、2015 年 3 月 13 日(金)から 4 月 5 日(日)まで、「ポーラ ミュージアム アネックス展 2015 -凝縮と拡充 -」を開催します。

本展では過去に公益財団法人ポーラ美術振興財団での若手芸術家の在外研修に対する助成において、採択されたアーティストの作品を展示します。ポーラ ミュージアム アネックスでの発表をきっかけに、今後の活動に活かしていただきたいという趣旨から開始し、今年で 6 回目となります。

今回は『凝縮と拡充』をテーマに美術評論家の木島俊介氏 監修のもと、4 名の若手アーティストによるインスタレーションを中心とした個性豊かな作品をご紹介します。

若手芸術家の在外研修に対する助成とは、公益財団法人ポーラ美術振興財団が毎年実施している活動のひとつで、35 歳以下のアーティストを対象に海外での研修を援助し、日本の芸術分野の専門性を高めていこうとするものです。なお、今年は前後期に分けて、合計 8 名のアーティストをご紹介します。後期の展覧会概要等の詳細は後日リリースにてご案内します。



左上：白木麻子「In the grid - floor windows」 2014 年 ナラ、布 / 右上：長谷川友紀「steaming 00」 2014 年 リトグラフ

左下：瀬山葉子「Plane Scape」 2010 年 ゴム、木、ビデオプロジェクト、スピーカー、コンピュータ

右下：吉本直子「鼓動の庭」 2012 年 古着の白いシャツ、椅子

【リリースに関するお問い合わせ】 株式会社ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室
info-annex@po-holdings.co.jp TEL 03-3563-5540 / FAX 03-3563-5543

【読者からのお問い合わせ先】 ポーラ ミュージアム アネックス TEL 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

POLA MUSEUM ANNEX

Ⅱ 展覧会概要 Ⅱ

展覧会名：ポーラ ミュージアム アネックス展 2015 -凝縮と拡充-

会 期：2015年3月13日(金) - 4月5日(日)【24日間】*会期中無休

会 場：ポーラ ミュージアム アネックス (〒104-0061 中央区銀座 1-7-7 ポーラ銀座ビル 3階)

アクセス：東京メトロ 銀座一丁目駅 7番出口すぐ

東京メトロ 銀座駅 A9番出口から徒歩6分

JR 有楽町駅 京橋口改札口徒歩5分

主 催：公益財団法人ポーラ美術振興財団

監 修：木島 俊介氏 (公益財団法人ポーラ美術振興財団ポーラ美術館館長)

開館時間：11:00 - 20:00 (入場は19:30まで)

入 場 料：無料

Ⅱ 監修者コメント Ⅱ

当展は、公益財団法人ポーラ美術振興財団が1996年以来実施している「若手芸術家の海外研修に対する助成」を受けられた方々にその研修成果をご披露いただく趣旨に沿って毎年開催されており、今回で第6回を迎えます。長谷川友紀のリトグラフ作品は、黒を生かした清冽な透明感の奥先に大きな広がりを感じさせ、吉本直子のテキスタイル作品は、凝縮されて根源化した素材が深い意味を語るものとなっています。白木麻子のインスタレーションは、穏やかな素材の平穏な組合せと対比のはざまにアンティーム※な空間を生み出しています。瀬山葉子の色彩と光とのインスタレーションはまさに、凝縮と反射、そして放射との燦然とした世界です。これらの作品がギャラリーという限られた空間の中に相対するとき、果たしてどのようなトポスが新たに発現するのか、そのような期待を込めて「凝縮と拡充」という呼称を付してみました。これは大いなる楽しみであります。

※ アンティーム (intime フランス語) : くつろいでいる様子

Ⅱ 監修者プロフィール Ⅱ

木島 俊介：ポーラ美術館館長。1939年、鳥取県生まれ。慶応義塾大学文学部卒業、美学・美術史専攻。フィレンツェ大学、ニューヨーク大学大学院、同美術史研究所に学ぶ。群馬県立近代美術館館長および群馬県立館林美術館館長、共立女子大学教授等を務め、現在、同大学名誉教授、東急文化村ザ・ミュージアム プロデューサー。主要著書に、『美しき時祷書の世界』(中央公論社)、『アメリカ現代美術の25人』(集英社)、『女たちが変えたピカソ』(中公文庫)、『名画が愛した女たち 画家とモデルの物語』(集英社)、『クリムトとウィーン』(六耀社)、翻訳書に、『ヨーロッパの装飾芸術 全3巻』(中央公論新社)などがある。

Ⅱ 公益財団法人ポーラ美術振興財団の活動概要 Ⅱ

公益財団法人ポーラ美術振興財団では、日本文化の向上・発展に寄与することを目的に、美術分野などの若手芸術家及び美術の専門職員に対する助成活動を行っています。主に美術分野における研究活動テーマを広く一般から募集し、有識者で構成される選考委員会によって採択・助成し、日本文化の向上、発展に寄与することを目的に、以下の活動を行っています。

【参考資料：平成26年度助成採択内容】

| | (採択数) | (助成金額) |
|---------------------|-------|---------|
| (1)若手芸術家の在外研修に対する助成 | 18件 | 5,422万円 |
| (2)美術館職員の調査研究に対する助成 | 12件 | 1,955万円 |
| (3)美術に関する国際交流の助成 | 12件 | 2,188万円 |

|| 作家プロフィール ||

吉本 直子

NAOKO YOSHIMOTO

- 1972年 兵庫県生まれ
1995年 京都大学教育学部教育心理学科卒業
2006年 文化庁新進芸術家海外留学制度派遣研修員（イギリス）
2007年 ポーラ美術振興財団在外研修員（イギリス）
2011年 京都府文化賞奨励賞



「鼓動の庭」のディテール
2012年 古着の白いシャツ

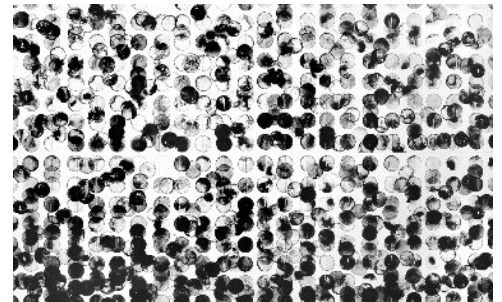
【主な展覧会】

- 2004年 「through the surface 表現を通して一日英テキスタイルコラボレーション」
京都国立近代美術館、ノッティンガム城美術館ほかイギリス4会場巡回
2008年 「秋のアーティスト・イン・レジデンス展『月下の森』」国際芸術センター青森（青森）
2012年 「吉本直子 Reflection Space—鼓動の庭」愛知県美術館（愛知）
「現代郷土作家展」姫路市立美術館（兵庫）
2013年 「16th DOMANI 明日展 未来を担う芸術家たち」国立新美術館（東京）
URL: <http://www.naokoyoshimoto.com/>

長谷川 友紀

YUKI HASEGAWA

- 1975年 東京都生まれ
1995年 文化女子短期大学部服装学科卒業
2003年 オランダ王立美術アカデミーハーグ
2005年 武蔵野美術学園版画課程修了
2006年 公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員（オランダ）
2007年 公益財団法人野村財団芸術文化助成（オランダ）



「steaming 01」
2014年 リトグラフ

【主な展覧会】

- 2008年 個展「長谷川友紀 版画展」ギャラリー・グラフィカ bis（東京）
「De Buitenkans」Museum Nagele（ナーゲレ、オランダ）
2010年 「International Print Network」Horst Janssen Museum（オルデンプルク、ドイツ）
2011年 「HET IS AAN」Nieuw Dakota（アムステルダム、オランダ）
2012年 「版画コレクション展」BASE GALLERY（東京）
2014年 個展「temperature」巷房（東京）
URL <http://www.yukihasegawalithography.com>

白木 麻子

ASAKO SHIROKI

1979年 東京都生まれ

2008年 東京藝術大学大学院美術研究科後期博士課程修了（博士号取得）

2008-2013年 東京藝術大学大学院美術研究科非常勤講師／千葉大学非常勤講師

2013年 公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員（ベルリン、ドイツ）

ワイマール・バウハウス大学客員研究員（ワイマール、ドイツ）

クンストラーハウス・ベタニエン・インターナショナル・スタジオプログラム（ベルリン、ドイツ）

【主な展覧会】

2011年 個展「画廊からの発言 新世代への視点2011

『再生される世界—生活の悟性』 gallery21yo-j（東京）

「ひととき」旧神谷伝兵衛別荘 千葉市美術館（千葉）

「皮膚と地図II—記憶と時間への近づき方」新宿眼科画廊（東京）

2013年 「Berlin Art Week / Open Studios」

クンストラーハウス・ベタニエン（ベルリン、ドイツ）

2014年 個展「On the Floor, Behind the Window」

クンストラーハウス・ベタニエン（ベルリン、ドイツ）

個展「第3回新鋭作家展 On the Floor, Behind the Window」

優秀賞、川口市立アートギャラリー・アトリア（川口、埼玉）

「4th Moscow International Biennale for Young Art」

The Museum of Moscow（モスクワ、ロシア）

URL: <http://www.asakoshiroki.com>



「On the frame, In the frame」
2014年
ナラ、色のついた綿リボン、ガラス

瀬山 葉子

YOKO SEYAMA

1980年 東京都生まれ

2004年 武蔵野美術大学建築学科卒業

2009年 オランダ王立美術アカデミー／アートサイエンス修士課程修了
（ハーグ、オランダ）

2013年 公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員（ドイツ、スイス、オランダ）



「Saiyah 彩」
2014年
ガラス、鏡、HMI照明、鉄、車輪

【主な展覧会／舞台】

2009年 「Mémoires d' Oubliettes」 振付イリ・キリアン、Netherlands Dance Theater（デンハーグ、オランダ）

2010年 「SonicActs XIII」 Netherlands Media Institute NIMk（アムステルダム、オランダ）

Today'sArt（デンハーグ、オランダ）

2011年 STRP festival（アイントホーフエン、オランダ）

Scopiton festival（ナンテ、フランス）

2012年 「Light, Matter, Memory」 Wood Street Galleries（ピッツバーグ、アメリカ）

「Paredes de Papel/Brittle Failure」 Teatro Corral de Comedias（アルカラ デ ヘナレス、スペイン）

2013年 「LIGHT LINES (UN)REAL」 Centre for international Light Art Unna（ウナ、ドイツ）

2014年 「光の彫刻 'Saiyah 彩」 Norrlands Operan（ウメオ、スウェーデン）

URL: <http://www.yokoseyama.com>